



こもろ観光局

KOMORO TOURISM BUREAU

【こもろ観光局のロゴマーク】

4月から営業を開始する「一般社団法人 こもろ観光局」。
多様な組織と人びとと一緒に「オール小諸」で小諸の未来を創り上げていきます。

【小諸未来義塾の様子】



【PR動画】



【シカ肉のペットフード化も進める】



【小諸宿脇本陣】



構築等を実施し、組織内を
カイゼン。

○新たな財源確保として、ポ
ータルサイトの導入と返礼
品を充実させ、ふるさと納
税の大幅な拡充。

○シティプロモーションとし
て、職員が手がけたPR動
画に自らトップセールスと
して出演し、全国に小諸の
魅力を発信。

○小諸市観光協会を中心に宿
泊、観光事業者のみならず
農商工事業者や金融機関と
も連携して、昨年11月に
「一般社団法人 こもろ観
光局」の設立。

これにより、多様な団体や
人々が結集して小諸の魅力
を一元的に発信する「オー
ル小諸」による観光地域づく
り」の取り組みがスタート
し、「住みたい 行きたい
帰ってきたい まち 小
諸」をめざす。

○福祉医療費特別給付金の対
象を高校3年生まで拡大。

○市内の高校と小諸市が連携
して市の活性化を考える
「小諸未来義塾」を設立。

強化。

運動遊び事業や先進的な英
語教育等の小諸ならではの
教育の充実。

■環境

○「クリーンヒルこもろ」の安
定的運営とともに、環境学
習の拠点とし、できるだけ
ごみを出さない環境に負荷
をかけない生活様式を啓発。

○6月をめどに、「小諸市事
業用太陽光発電施設に係る
ガイドライン」を整備し、
環境と調和した質の高い再
生可能エネルギーの導入を
促進。

■健康・福祉

○12月に開院する小諸厚生総
合病院と行政が連携し、目
に見える市民サービスを提
供できるよう体制を構築。

○妊娠期から子育て期にわた
る様々なニーズに対応した
総合的支援相談体制の構築
のために、4月から新たに
「子育て世代包括支援セン
ター」を開設。

○「地域活動支援センター」
を設置し、障がい者の日中
の活動をサポート。

を始め、具体的なブランド
化に向け、全国への戦略的
な情報発信。

○脇本陣の再生や東京オリ
ンピックを見据えた高地トレ
ーニングを行う団体等に対
し誘致活動を実施。

○新たな店舗誘致補助金（行
列のできるお店誘致プロジ
ェクト）の制度化と商業施
設や生産設備取得に係る助
成を拡充。

■生活基盤整備

○「こもろ愛のりくん」「愛
のりすみれ号」の運行は、
採算性を考慮し、利便性の
充実。

○避難所用備品等の計画的な
整備にとどまらず、災害を
想定した、地域での自主的
な防災力の充実。

■協働・行政経営

○行政マネジメントシステム
の仕組みの中で、PDCA
サイクルを回し、「第5次
基本構想、第10次基本計
画」を着実に実行。